商品名: マルチ　レコード　コンポ

型　番: EB-XS100LP

取 扱 説 明 書　保証書添付

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

●本機の性能を十分に発揮させると共に、長期間支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し、必要に応じてご利用ください。保証書に、「お買い上げ日・販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。

※本書で使用しているイラストは実物と多少異なる場合がございます。

はじめに
●安全上のご注意
●同梱品一覧
●本体各部の名称
●リモコンの使い方
●スピーカー端子との接続
●AUX端子との接続
●電源の接続

再生機能
●レコードを聴く
●カセットテープを聴く
●ラジオを聴く
●CDを聴く
●SDカード/USBメモリー

録音機能
●レコード録音
●カセットテープ録音
●AUX端子と接続して録音
●CD録音
●USB・SDカード間のファイルを録音（コピー）

困った時 製品仕様
●故障かな？と思ったら
●製品仕様

保証書 サポート
●保証条件の内容
●保証書/サポート情報

ver.02.14.04

もくじ

■はじめに

もくじ …… 1
安全上のご注意 …… 2-3
使用上のご注意 …… 4-5
同梱品一覧 …… 6
本体各部の名称 …… 7-10
リモコンのはたらき …… 11-12
リモコンの使い方 …… 13-14
スピーカー端子との接続 …… 15
AUX端子との接続 …… 16
電源の接続 …… 17

■再生機能

レコードを聴く …… 18-19
カセットテープを聴く …… 20
ラジオを聴く …… 21
CDを聴く …… 22-23
SDカード/USBメモリー …… 24-27

■録音機能

レコード録音 …… 28
カセットテープ録音 …… 29
AUX端子と接続して録音 …… 30
CD録音 …… 31
USB・SDカード間のファイルを録音(コピー) …… 32-33

■困った時

故障かな？と思ったら …… 34-35

■製品仕様

製品仕様 …… 36

■保証書・サポート

保証条件の内容 …… 37
保証書/サポート情報 …… 38

■安全上のご注意　【必ずお読みください】

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について
この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取扱い方を絵表示しています。内容をよくご理解頂きましてお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

禁止の行為であることを告げるものです。

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 警告

異常や故障のとき

■万一、本体から煙が出ていたり、変なにおいがする時はすぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、サポートセンターにご連絡ください。

■落としたり、電源プラグを破損したときはすぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
サポートセンターに点検をご依頼ください。

■内部に水や異物が入ったら、すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サポートセンターに点検をご依頼ください。

■電源コードが傷んだり、電源コードが発熱した時は、すぐに電源を切り、電源コードが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サポートセンターに点検をご依頼ください。

安全上のご注意

ご使用になるとき

■修理・改造・分解はしないこと。
火災・感電の原因となります。
修理・点検はサポートセンターにご依頼ください。

■内部に異物を入れないこと。
クリップ、ヘアピンなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。
特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

■雷が鳴り出したら、電源コードを抜き、本機に触れないこ と。
感電の原因になります。

■外での使用はしないこと。

■水にぬらしたりしないこと。
火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

■カバーを閉めるとき、手を入れないこと。
手を挟み、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■レコード再生中に、レコード盤に手を触れたり、手で逆転させたりなどの行為は絶対に行わないこと。
レコード針の破損や、本体の故障の原因となります。

■レコード針は絶対に手や指で触らないこと。
針が曲り、破損の原因となります。

■歪みの大きいレコードや、傷のあるレコードは再生しないこと。
音飛びが発生したり、レコード針自体が飛び、本体各所に接地した時に傷ついたり、破損したりする恐れがあります。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。
本機内で高速回転するため、割れて飛び散り、けがや故障の原因となります。

■電源を入れる前に、音量を最小にすること。
突然大きな音が出て聴力障害などの原因になることがあります。

■カセットテープを再生する際、テープの巻きだるみがないこと。
テープに巻きだるみがあると、テープが絡まったり、再生に異常が発生することがあります。

■本製品は家庭用電化製品ですので、業務用のディスプレイや長時間連続しての使用は、保証対象外となりますので、ご注意ください。

使用上のご注意

設置されるとき

禁止

■ぐらつく台の上や傾いた場所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。本機が落下し、けがの原因となります。

指示

■本機は電源コードをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。

禁止

■上に物を置かないこと。

●金属類や、花びん、コップ・化粧品等の液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

●重いものなどを置き落下した場合、けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

■風通しの悪い場所に置かないこと。
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

●じゅうたんや布団の上に置かないでください。

●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。

●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に置かないで下さい。

●壁に押し付けないでください。

禁止

■温度の高い場所に置かないこと。
直射日光の当たる場所・閉めきった車内・ストーブのそば等に置くと、火災・感電の原因となることがあります。また破損、その他部品の劣化の原因にもなります。

禁止

■湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電・故障の原因となる場合があります。

禁止

■移動させる場合は、電源コード・外部との接続コードをはずすこと。
電源コードを抜かずに運ぶと、コードが傷付き、火災・感電の原因となります。
接続コード等を外さずに運ぶと、本機や外部接続機器が落下し、けがの原因となることがあります。

⚠ 警告

リモコン用ボタン電池について

禁止

■ボタン電池は、幼児の手の届く場所には置かないこと。
お子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。万が一飲み込んだ場合、直ちに医師に相談してください。

禁止

■指定以外の電池は使用しないこと。

■電池の極性表示「+」「−」を間違えて挿入しないこと。

■充電・加熱・分解したり、火の中に入れないこと。

使用上のご注意

⚠ 警告

電源コードについて

禁止

■電源コードは
- ●傷つけたり延長するなど、加工したり加熱したりしないこと。
- ●引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしないこと。
- ●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。

禁止

■時々電源プラグを抜き、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除すること。
電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠ 注意

禁止

■通電中の電源コードに布団を掛けたり、暖房機器の近くやホットカーペットの上に置かないこと。
火災・故障の原因となります。

指示

■電源コードは付属の物を使用すること。
指定以外の電源コードを使用すると、火災・故障の原因となります。

禁止

■付属の電源コードを本機以外の他の用途に使用しないこと。
火災・故障の原因となります。

指示

■電源コードはコンセントの奥まで確実に差し込むこと。
火災・故障の原因となります。

指示

■電源コードは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること。

禁止

■電源コードをコンセントから抜く時は、コードを引っ張って抜かないこと。
コードを引っ張って抜くと、コードが傷つき感電の原因となりますので、プラグを持ち抜き差ししてください。

プラグを抜く

■旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードはコンセントから抜くこと。
万一故障した時、火災の原因となることがあります。

禁止

■濡れた手で電源コードのプラグの抜き差しをしないこと。
感電の原因となります。

禁止

■電源コードを分解・改造・修理しないこと。
火災・感電の原因となります。

同梱品一覧

同梱品一覧

本体をご使用頂く前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

※　イラストは実物と異なる場合があります。

本体・スピーカー×2

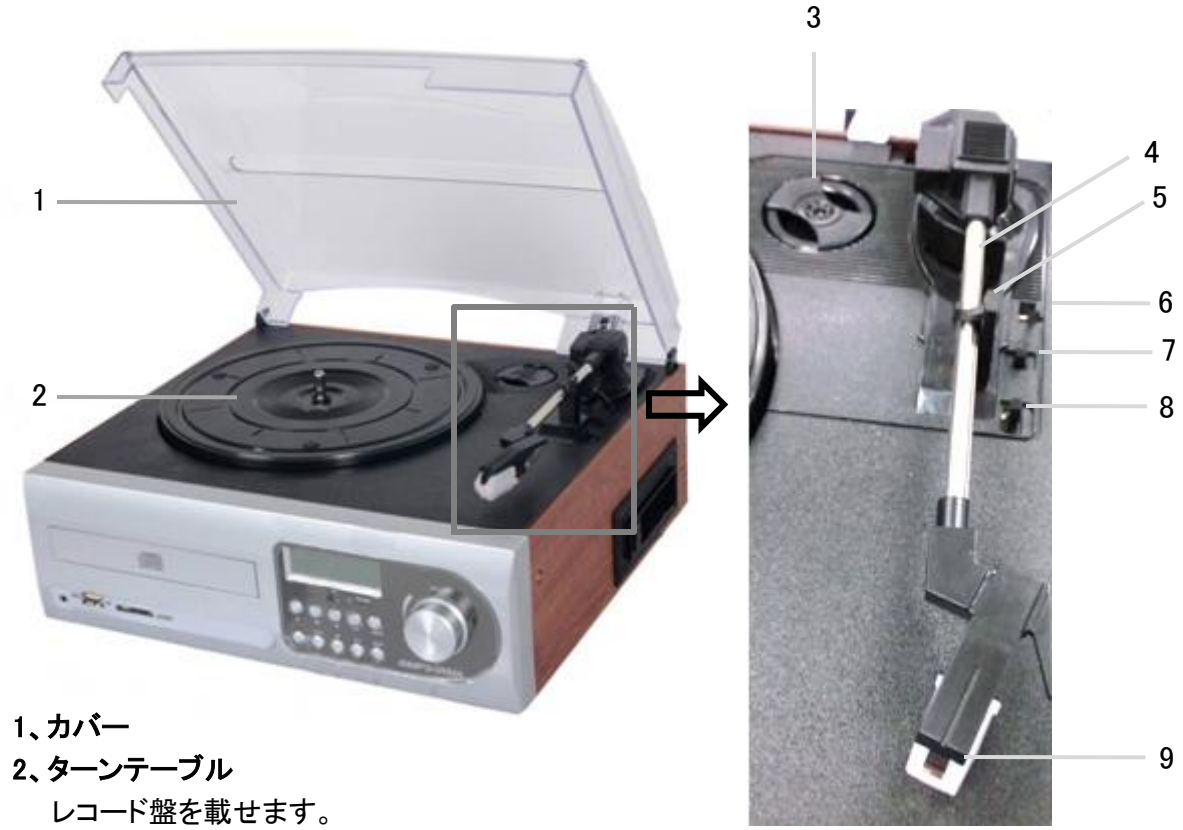
取扱説明書（本書）

リモコン・テスト用電池

※　同梱されるリモコン用の電池はテスト用です。
　　お早目に新しい物と交換してください。

本体各部の名称

本体上部



1、カバー

2、ターンテーブル

レコード盤を載せます。

3、45回転アダプター

45回転レコードを再生する場合に使用します。

4、トーンアーム

5、トーンアーム固定フック

6、リフター

トーンアームを上下させます。

7、AUTO STOP ON/OFFスイッチ

①AUTO STOP ON:トーンアームをレコード盤の方へ移動すると、ターンテーブルが回転し、アームレストへ戻すとターンテーブル回転が停止します。

②AUTO STOP OFF:レコード再生(PHONO)モードに切り換えると、常にターンテーブルが回転します。

8、33/45/78(回転数切換スイッチ)

再生するレコードに合わせて回転数を切り換えます。

9、レコードヘッド

レコード針が取り付けられています。レコードを再生する時は白い保護カバーを手前に引き抜いてからご利用ください。

本体各部の名称

本体前面・側面

10、3.5mm Aux-in ジャック

他のオーディオ機器を接続することができます。

11、USB端子

12、SDカードスロット

13、ディスクトレー

14、カセットテープ挿入口

カセットテープを入れて再生します。

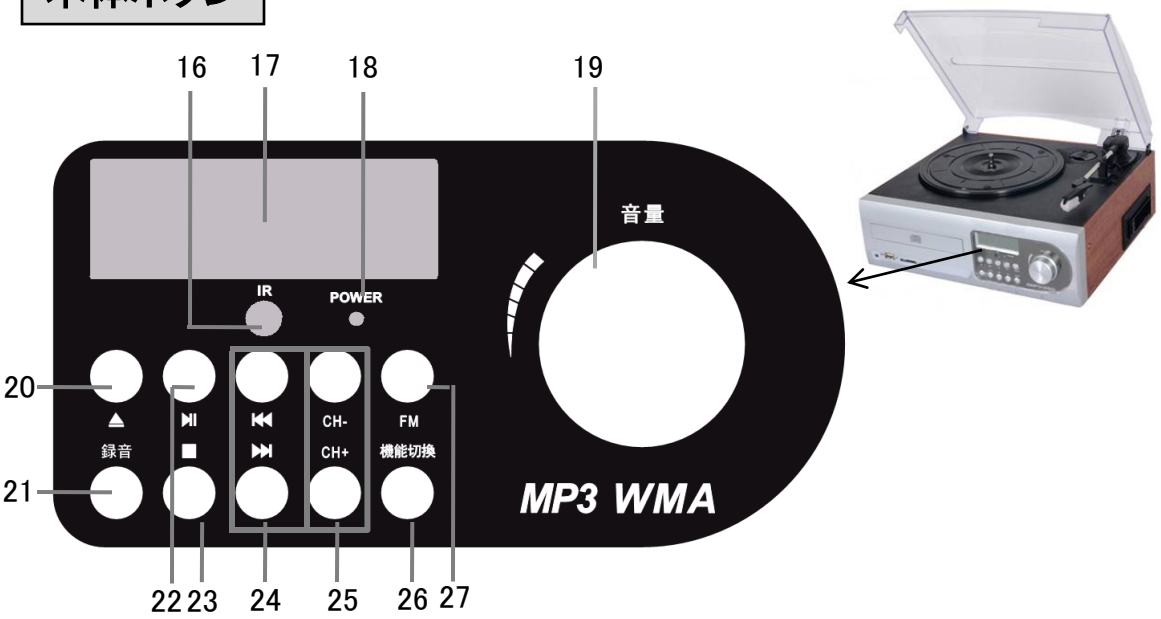
15、早送り/取り出しボタン

①半分まで押すと、テープの早送りをします。 ※早戻り機能はありません。

②奥まで押すと、カセットテープを取り出せます。

本体各部の名称

本体ボタン



16、リモコン受光部

17、ディスプレイ

18、電源ランプ

19、音量調整ダイヤル

※レコードモードでは音量を最小音量/消音にしても、音が完全に消えません。

20、⏏ ボタン

ディスクを取り出します。

21、録音ボタン

録音を行います。

22、⏯ ボタン

①CD/USB/SDモードで再生/一時停止を行います。

②FMラジオモードでオートスキャンを行います。

23、■ボタン

CD/USB/SDモードで再生を停止します。

24、⏮ ⏭ ボタン

①CD/USB/SDモードで前/次のファイルに移動します。

②FMラジオモードで放送局の調整を行います。

25、CH-/CH+ボタン

①USB/SDを再生モードで複数フォルダがある場合、前/次のフォルダに移動します。

②FMラジオモードでチャンネルを切り換えます。

26、機能切換ボタン

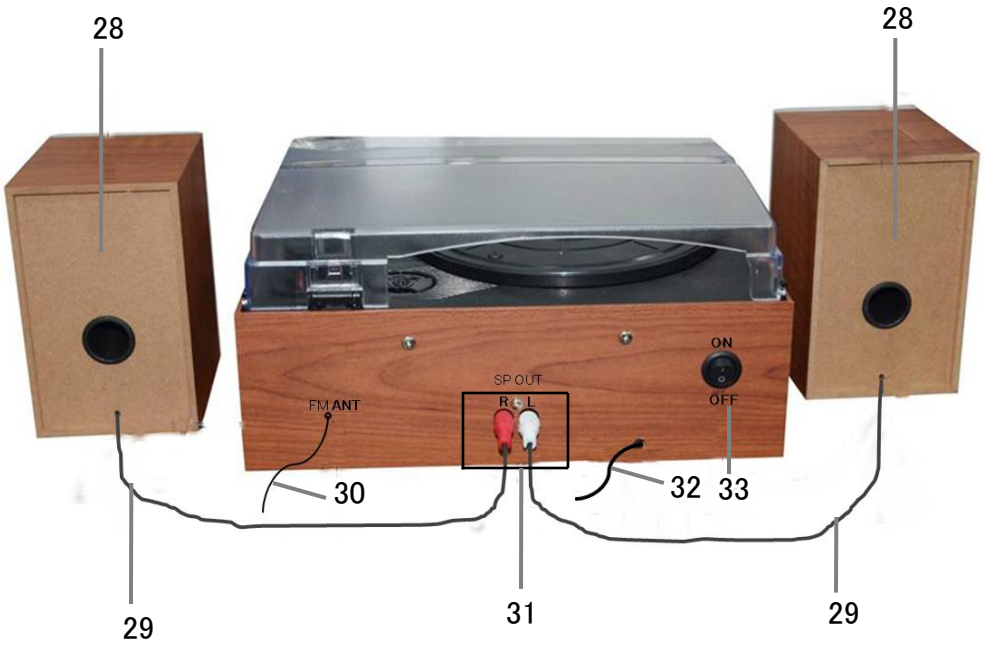
PHONO/TAPE・AUX/TUNER/CD/USB/SD再生に切り換えます。

27、FMボタン

FMラジオ放送に切り換えます。

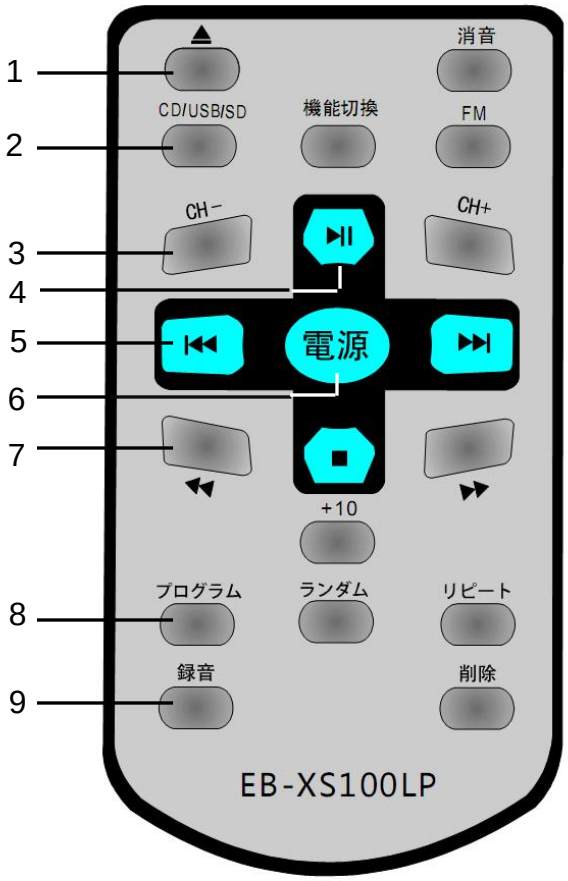
本体各部の名称

本体背面



28、スピーカー
29、スピーカーコード
30、FMアンテナ
31、スピーカー（R/L）接続端子
32、電源コード
33、電源スイッチ

リモコンのはたらき



1、⏏ ボタン
ディスクを取り出しします。

2、CD/USB/SDボタン
CD/USB/SD再生に切り換えます。

3、CH−ボタン
①USB/SDを再生モードで複数フォルダがある場合が前のフォルダに移動します。
②FMラジオモードでチャンネルを切り換えます。

4、⏯ ボタン
①CD/USB/SDモードで再生/一時停止を行います。
②FMラジオモードでオートスキャンを行います。

5、⏮ ボタン
①CD/USB/SDモードで前のファイルに移動します。
②FMラジオモードで放送局の調整を行います。

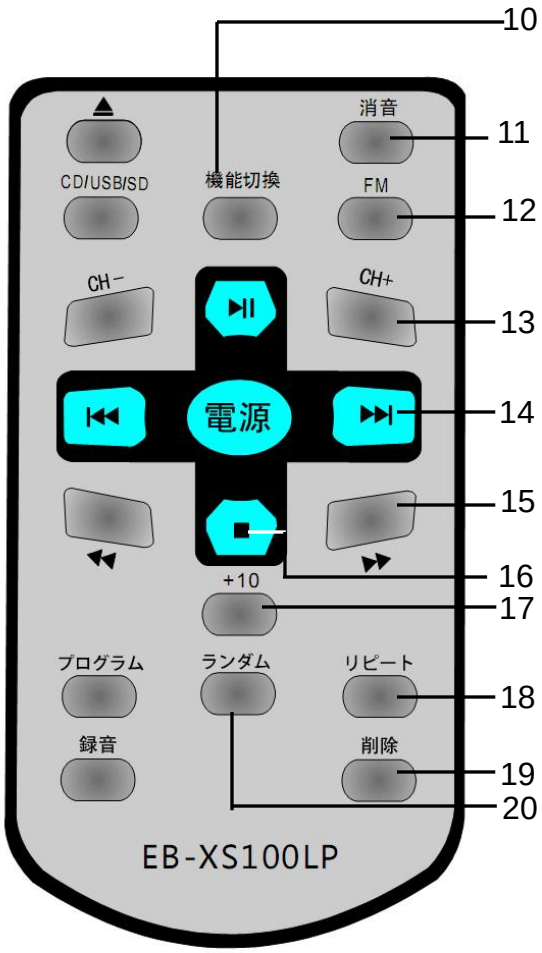
6、電源ボタン
スタンバイをオン/オフにします。

7、◀◀ ボタン
CD/USB/SDモードで押すと早戻りをします。※押している間だけ早戻りをします。

8、プログラムボタン
①CD/USB/SDモードでプログラム再生を設定する際に使用します。
②FMラジオモードでチャンネルを保存します。

9、録音ボタン
録音を行います。

リモコンのはたらき



10、機能切換ボタン
レコード/カセット・AUX再生に切り換えます。

11、消音ボタン
音を消す際に使用します。
※レコードモードで消音にしても、音が完全に消えません。

12、FMボタン
FMラジオ放送に切り換えます。

13、CH+ボタン
①USB/SDを再生モードで複数フォルダがある場合が次のフォルダに移動します。
②FMラジオモードでチャンネルを切り換えます。

14、▶▶| ボタン
①CD/USB/SDモードで次のファイルに移動します。
②FMラジオモードで放送局の調整を行います。

15、▶▶ ボタン
CD/USB/SDモードで押すと早送りをします。※押している間だけ早送りをします。

16、■ボタン
CD/USB/SDモードで再生を停止します。

17、+10ボタン
CD/USB/SDモードで押すと10曲をスキップします。

18、リピートボタン
CD/USB/SDモードで押すとごとにリピート方式が切り換えます。

19、削除ボタン
USB/SDカード内のファイルを削除します。

20、ランダムボタン
CD/USB/SDモードで押すとランダム再生をします。

リモコンの使い方

リモコン用ボタン電池の入れ方

※ご使用になる前に、電池を入れて
ください。
※付属の電池はテスト用です。
早めに新しい物と交換してください。

1、リモコンとテスト用電池を出します。

2、リモコン背面の電池トレーを
引き出します。

3、テスト用電池（CR2025）の＋を
上にしてのせ、電池トレーを
閉じてください。

はじめに

⚠ 注意

※電池の誤った使い方は、液漏れや破裂の原因になります。次の点にご注意ください。
●電池の「＋、－」は正しい面にセットしてください。
●使用済みの電池や使用期限切れの電池を使用しないでください。
●電池を加熱し、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。
●液漏れが生じた場合は、漏れた液を拭いて、新しい電池と交換してください。
●ボタン電池は、小さいお子様が誤って飲み込むおそれがあります。
電池はお子様の手の届かないところに保管してください。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師の指示を受けてください。

リモコンの使い方

リモコンの使い方

●リモコンは本体の受光部に
向けて操作してください。

●リモコンの受光範囲は受光部
より約4m以内、角度は上下
左右30度以内です。

リモコン受光部

※注意
・本体のリモコン受光部が直射日光や強い光
にさらされると、装置が誤作動することがあります。
・リモコンは分解しないでください。

スピーカー端子との接続

電源はOFF状態で接続してください。
スピーカーコードを本体背面のスピーカー端子に接続してください。
左スピーカー（白いピン）は白い端子と接続、右スピーカー（赤いピン）は赤い端子と接続します。

※注意
本体とスピーカーは1cm以上離してください。誤った接続をしないでください。

AUX端子との接続

3.5mm音声ケーブル（別売り市販）で本体前面のAUX端子と、お手持ちの
CDプレーヤーなどの出力端子を接続して、外部機器で再生した音声を本機で
出力します。

①本体前面のAUX端子とお手持ちのCDプレーヤーなどのヘッドホンまたはLINE　OUT
などの音声出力端子を3.5mm音声ケーブルで接続します。
※ 3.5mm音声ケーブルは付属しておりません。別途接続する機器に合わせたもの
をご用意ください。
②本体前面またはリモコンの機能切換ボタンで「TAPE/AUX」モードに切り換えると、
外部機器で再生した音声を本機で出力します。

※3.5mm音声ケーブルで接続の際は、本機と外部機器の電源を切ってから抜き差しして
ください。

電源の接続

■電源をオンにする

1、電源プラグを家庭用コンセントに差し込んでください。

2、本体背面の電源スイッチをオンにしてください。電源ランプは赤く点灯します。

■スタンバイにする

リモコンの電源ボタンでスタンバイオン/オフにします。

■電源をオフにする

電源を切る時は電源を入れる時と逆手順で行います。

1、本体背面の電源スイッチをオフにしてください。電源ランプは消灯します。

2、電源プラグを家庭用コンセントから抜きます。

※長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 警告

・電源コードは家庭用100Vのコンセントに接続すること。
・濡れた手で電源コードの抜き差しをしないこと。
感電の原因となることがあります。
・付属の電源コードを使用すること。
指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因になります。
※通電中、電源コードの表面温度が高くなる場合があります。
持ち運ぶときは電源プラグを抜き、温度が下がってから行ってください。

レコードを聴く

【注意事項】

※レコードヘッド部に針の保護のため白いキャップを取り付けております。
レコードを聴く際は、白いキャップを手前に引き抜いてからご利用ください。
長時間使用しない場合はレコード針保護のため、白いキャップを取り付けてください。

※レコード針は絶対に手や指で触らないでください。針の曲がりや、破損の原因となります。

※レコードに付着したホコリ等を清掃する際は、市販のレコード針専用クリーナーを使用して清掃してください。

※レコード再生中に、レコード盤に手を触れたり、手で逆転させたり等の行為は絶対にしないでください。レコード針の破損や本体の故障の原因となります。

※歪みの大きいレコードや、激しい傷のあるレコードは再生しないようにしてください。
音飛びが発生したり、レコード針が極端に飛び、本体に接触した時に傷ついたり、破損したりする恐れがあります。

※レコード再生中はカバーを閉じ、レコードにホコリ等が付着しないようにしてください。

※再生完了後、レコード盤をターンテーブルから外して保管してください。そのまま長時間ターンテーブルに載せると、ターンテーブルのゴムによりレコード盤に跡が付ける恐れがあります。ご注意ください。

【操作手順】

※ 45回転のレコードを再生する場合は、先に45回転アダプターをターンテーブルにセットしてからレコードを載せます。

1、カバーを開けて、レコードの再生面を上にしてターンテーブルに載せます。
2、レコードの回転数を合わせて回転数切換スイッチ(33/45/78)でセットしてください。
3、本体前面またはリモコンの機能切換ボタンでPHONOモードに切り換えます。

ディスプレイ表示

4、トーンアーム固定フックを外し、トーンアームを持ち上げながらレコードの方に近づけると、レコードの回転が開始します。
5、レコードの再生したい位置にゆっくりとレコード針を降ろすと、再生が開始されます。
6、レコードの再生が終了したらトーンアームを元に戻し、トーンアーム固定フックで固定してください。

レコードを聴く

●AUTO　STOP（レコード自動停止）スイッチについて

AUTO　STOP（レコード自動停止）スイッチを切り換えることによって、ターンテーブルの動作を変更することができます。

・AUTO　STOP　ON（レコード自動停止NO）

トーンアームをレコード盤の方へ移動すると、ターンテーブルが回転し、
アームレストへ戻すとターンテーブルの回転が停止します。

・AUTO　STOP　OFF（レコード自動停止OFF）

レコード再生（PHONO）モードに切り換えると、常にターンテーブルが回転します。

カセットテープを聴く

ご使用の前に

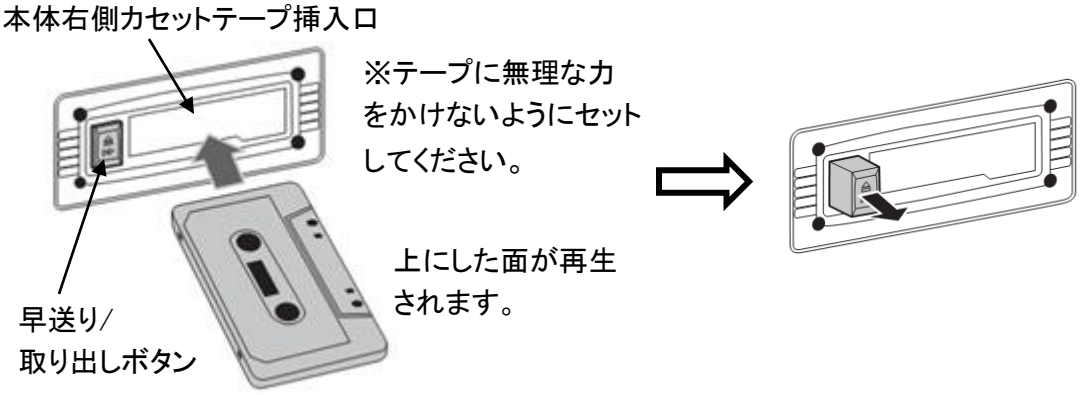
・カセットテープを再生する前に、テープにたるみがないかご確認ください。
　テープにたるみがある場合は、リール部分を鉛筆等で回転させてたるみをとってください。
・劣化したカセットテープの再生は製品の故障原因になりますので、使用しないでください。
・60分以上のテープは磁気テープ部分が薄く、再生トラブルが発生する場合がありますので
　ご利用はお控えください。

【操作手順】

1、本体前面またはリモコンの機能切換ボタンで「TAPE/AUX」モードに切り換えます。
※本体前面のAUX端子に機器が接続されていると、AUXが優先されます。

ディスプレイ表示

2、カセットテープの再生したい面を上にして、カセットテープ挿入口に差し込みます。
　早送り/取り出しボタンが飛び出し、自動的にカセットテープの再生が始まります。



3、音量調整ダイヤルで音量を調整します。
4、早送り/取り出しボタンを半分まで押すと早送りができます。
　※テープの早戻し機能はありません。
5、早送り/取り出しボタンを奥まで押すと、テープを取り出すことができます。
6、テープが最後まで再生されると、自動的に停止します。
　反対の面を聴く場合は、早送り/取り出しボタンを奥まで押し、テープを取り出して
　反対の面をセットしてください。

ラジオを聴く

ご使用の前に

・本製品を予め受信感度の良い場所に設置してください。
・本体背面のFMアンテナを調整してください。

【操作手順】

1、本体前面の機能切換ボタンまたはリモコンの「FM」ボタンを押して
FMラジオモード「 TUNER 」に切り換えます。

2、オートスキャン
本体またはリモコンの ▶II を押すと自動的にスキャンします。
受信した放送局が自動的に保存されます。スキャンが終わると、最初に保存した
チャンネルから放送開始されます。

3、チャンネル切換
本体またはリモコンのCH+/CH-ボタンでチャンネルを切り換えます。

4、音量調整
本体の音量調整ダイヤルで音量を上げ/下げします。

放送局をチャンネル登録する

本体またはリモコンの ⏮ ⏭ を押すごとにFMは0.1MHz単位で調整します。
お好みの放送局を選択して、「プログラム」ボタンを押すと登録するチャンネル番号が
ディスプレイに点滅して表示されます。再度「プログラム」ボタンを押すと、チャンネル登録が
完了します。

※注意

・チャンネル保存はFM最大30件保存できます。
・オートスキャンを行うと、以前保存したチャンネルはリセットされます。
・オートスキャンを中止する場合は■ボタンを押します。
・地域・建物の構造・設置場所等の状況によって、正常に受信ができない場合があります。
受信感度の良い場所へ設置して受信をおこなってください。
・FMラジオは録音できません。

CDを聴く

【基本操作】

1、本体前面の機能切換ボタンまたはリモコンの「CD/USB/SD」ボタンで
CDモードに切り換えます。

2、本体またはリモコンの ⏏ を押し、ディスクトレイを開けます。
CDディスクをセットし、再度 ⏏ を押し、ディスクトレイを閉めます。

3、ディスプレイに「READING」と点滅し、CDのトラック数と収録時間を表示後、再生
が始まります。

再生中できる操作

・音量の調節

再生中に本体の音量調整ダイヤルで音量を上げ/下げします。
リモコンの消音ボタンを押して、音を消すことができます。

・リピート再生

再生中にリモコンの「リピート」ボタンを押すと、くり返し再生を行うことができます。
ボタンを押すたびに、くり返し方法が切り換わります。
リピート1→リピートALL→閲覧再生（頭の10秒だけ再生）→通常再生

・早送り・早戻り

再生中にリモコンの ▶▶ または ◀◀ ボタンを長押しすると、早送り又は早戻り再生をすることができます。
※ボタンを押している間に早送り/早戻りします。

・スキップ戻り/スキップ送り

再生中にリモコンの |◀◀ または ▶▶| を押すと、前または次のファイルに移動し再生します。
※リモコンの+10ボタンを押すと10曲をスキップすることができます。
例：現在再生している曲がNO：2なら、 +10ボタンを押すとNO：12になります。

・一時停止

再生中に ▶II ボタンを押すと再生を一時停止します。
もう一度押すと、再生が再開されます。

・ランダム再生

リモコンのランダムボタンを押すとランダム再生をします。

・停止

再生中に■ボタンを押すと再生を停止します。
画面にCDのトラック数と収録時間が表示されます。

・プログラム再生

①■ボタンを押して再生を停止してください。

例

トラック数　収録時間

②リモコンのプログラムボタンを押すと、トラック番号が00として点滅します。

トラック番号　再生順番番号

⏮ ⏭ ボタンで1番目に再生するトラックを選択し、プログラムボタンを押します。
同じ方法で次の再生したいトラックを設定してください。

③ ⏯ ボタンを押すと設定した順番で再生が始まります。
④プログラム再生を通常再生に戻すには■ボタンを2回押します。

SDカード／USBメモリー

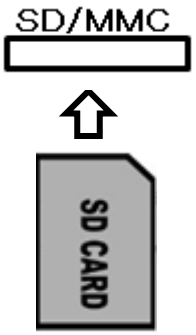
●本製品ではSDカード、USBメモリーに記録されたMP3・WMAファイルを再生することができます。

⚠ 注意

●本製品でSDカード、USBメモリーを使う時、以下の注意事項を必ずお守りください。
間違えた使い方においてのデータの損失、SDカード・USBメモリーの破損については保証いたしかねます。
●SDカード、USBメモリーの読込み中、再生中又は動作終了以前に取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。
●本製品で再生できるのはMP3、WMA形式です。それ以外の形式で記録されたカードは使わないでください。
●SDカード・USBメモリーの機種、メーカー、年式等によっては正しく動作しない場合がございます。
●大切なデータはバックアップすることをお勧めいたします。

SDカードの再生

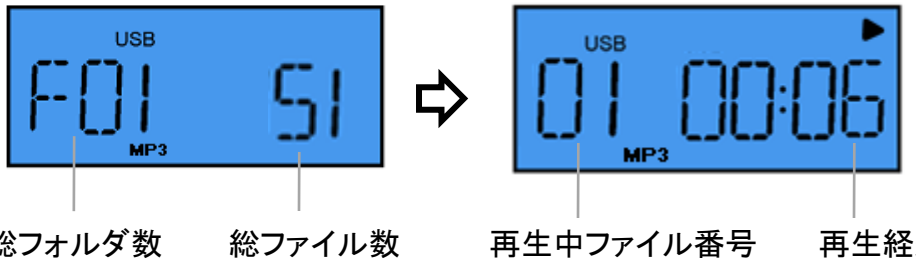
1．本体前面のSDカードスロットにSDカードのラベル面を上に、金色の端子を下にして挿入します。



USBメモリーの再生

1．本体前面のUSBスロットにUSBメモリーを挿入します。

2、本体の機能切換ボタンまたはリモコンのCD/USB/SDボタンで、SDモードまたはUSBモードに切り換えます。「READING」が点滅し、総フォルダ数と総ファイル数を表示後、再生が始まります。



再生中できる操作

・音量の調節

再生中に本体の音量調整ダイヤルで音量を上げ/下げします。
リモコンの消音ボタンを押して、音を消すことができます。

・リピート再生

再生中にリモコンの「リピート」ボタンを押すと、くり返し再生を行うことができます。
ボタンを押すたびに、くり返し方法が切り換わります。
リピート1→フォルダリピート→リピートALL→閲覧再生（頭の10秒だけ再生）
→通常再生

・早送り・早戻り

再生中にリモコンの ▶▶ または ◀◀ ボタンを長押すと、早送り又は早戻り再生をすることができます。
※ボタンを押している間に早送り/早戻りします。

・スキップ戻り/スキップ送り

再生中にリモコンの |◀◀ または ▶▶| を押すと前または次のファイルに移動し再生します。

・一時停止

再生中に ▶II ボタンを押すと再生を一時停止します。
もう一度押すと、再生が再開されます。

・停止

再生中に ■ ボタンを押すと再生を停止します。

・ランダム再生

リモコンのランダムボタンを押すとランダム再生をします。

・フォルダ選択

リモコンまたは本体のCH+/CH−ボタンを押すと次または前のフォルダに切り換えます。
|◀◀ ▶▶| ボタンでフォルダ内のファイルを選択します。
※リモコンの+10ボタンを押すと10曲をスキップすることができます。
例：現在再生している曲がNO：2なら、 +10ボタンを押すとNO：12になります。

・プログラム再生

①■ボタンを押して再生を停止してください。画面に総フォルダ数と総トラック数が表示されます。

例

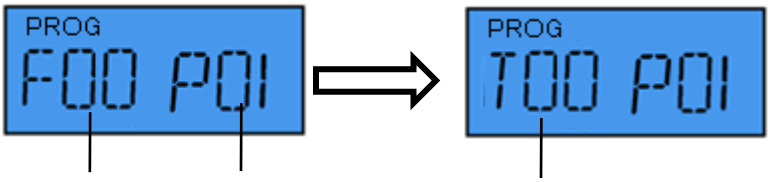
総フォルダ数　総トラック数

②リモコンのプログラムボタンを押すと、プログラム設定画面に入ります。

A、最初はフォルダ選択画面が表示し、CH+/CH−ボタンでフォルダを選択し、プログラムボタンで決定します。

B、次にトラック選択画面が表示されます。⏮ ⏭ ボタンでトラックを選択し、プログラムボタンを押すと、1番目に再生するトラックの設定が完了します。同じ方法で次の再生したいトラックを設定してください。

フォルダ選択画面　　トラック選択画面



フォルダ番号　再生順番番号　　トラック番号

③ ⏯ ボタンを押すと設定した順番で再生されます。

④プログラム再生を通常再生に戻すには■ボタンを2回押します。

USB/SDカード内のファイルを削除する

1、再生中の音楽ファイルを削除したい場合は、リモコンの削除ボタンを押すと
削除画面がディスプレイに表示されます。

例：再生中画面

再生中ファイル番号

削除画面

表示が点滅します。
▶▶| ボタンを押すごとにDIR→ALL
→ONEに切り換えます。
ONE：1曲だけ削除します。
DIR：フォルダ内の曲を削除します。
ALL：全ての音楽ファイルを削除します。
※削除画面が一定時間表示後自動的に消えます。

2、本体またはリモコンの ▶▶| ボタンを押すごとに画面がONE→DIR→ALLに切り換わります。

3、再度削除ボタンを押すと、1曲削除またはファイルが全部削除されます。

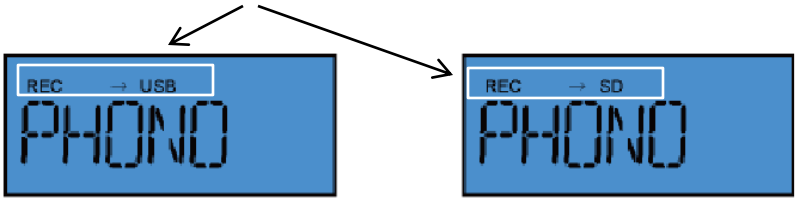
※削除したファイルは復元できませんので、削除するファイルやフォルダを一度再生するなど、十分確認してから行ってください。
※大切なデータはバックアップすることをお勧め致します。

レコード録音

1、USBまたはSDカードのどちらかを専用端子に入れてください。

2、本体またはリモコンの機能切換ボタンでレコードモード「PHONO」に切り換えます。

3、リモコンまたは本体の録音ボタンを押すとディスプレイに「WAITING」を表示後
録音画面に切り替わります。レコードを再生すると、録音が開始されます。
ディスプレイに録音メディア先が点滅します。



USBへの録音　　SDカードへの録音

※録音する際にSDカードとUSBが同時に接続されている場合、録音ボタンを押した時にどちらのメディアに録音するかを選択します。|◀◀ / ▶▶| ボタンで選択し、再度録音ボタンを押してください。

4、録音を停止（終了）するには、リモコンまたは本体の■ボタンを押します。

※録音された音楽は、記録したメディアの中の【RECORD】→【AUDIO】フォルダに保存されています。ファイル名はREC001.MP3というファイルから順番に1つずつ番号が増えていきます。
※録音する前にメディアの容量が十分にあることをご確認してください。

カセットテープ録音

※本体前面のAUX端子に機器が接続されていると、AUXが優先されます。
カセットテープを録音する場合、AUX端子には何も接続されていない
状態で行ってください。

1、USBまたはSDカードのどちらかを専用端子に入れてください。

2、本体またはリモコンの機能切換ボタンで「TAPE/AUX」に切り換えます。

3、リモコンまたは本体の録音ボタンを押すと、ディスプレイに「WAITING」を表示後
下記録音画面に切り換わります。

USBへの録音

※録音する際にSDカードとUSBが同時に接続されている場合、録音ボタンを押した時
にどちらのメディアに録音するかを選択します。|◀◀ / ▶▶| ボタンで選択し、再度
録音ボタンを押してください。

4、同時にカセットテープを挿入すると再生が始まり、録音が開始されます。

5、録音を停止するには、本体またはリモコンの■ボタンを押します。

※録音された音楽は、記録したメディアの中の【RECORD】→【 AUDIO 】フォルダに保存
されています。

AUX端子と接続して録音

3.5mm音声ケーブル（別売り市販）で本体前面のAUX端子と、お手持ちの
CDプレーヤーなどの出力端子を接続して、USBやSDカードへ録音します。

1、本体前面のAUX端子とお手持ちのCDプレーヤーのヘッドホン、またはLINE　OUT
などの音声出力端子を3.5mm音声ケーブルで接続します。
※ 3.5mm音声ケーブルは付属しておりません。別途接続する機器に合わせたもの
をご用意ください。

2、USBまたはSDカードのどちらかを専用端子に入れてください。

3、リモコンまたは本体の機能切換ボタンで「TAPE/AUX」に切り換えます。

ディスプレイ表示

4、リモコンまたは本体の録音ボタンを押すと、ディスプレイに「WAITING」を表示後
下記録音画面に切り換わります。

USBへの録音

※録音する際にSDカードとUSBが同時に接続されている場合、録音ボタンを押した時
にどちらのメディアに録音するかを選択します。|◀◀ / ▶▶|　ボタンで選択し、再度
録音ボタンを押してください。

5、外部機器の音楽を再生すると、再生した音楽が録音されます。

6、録音を停止するには、本体またはリモコンの■ボタンを押します。

※音楽を曲ごとにファイルを作成したい場合は、1曲ごとに録音ボタンと■ボタンを押すと、
曲ごとのファイルを作成することができます。
※録音された音楽は、記録したメディアの中の【RECORD】→【 AUDIO 】フォルダに保存
されています。

CD録音

1、USBまたはSDカードのどちらかを専用端子に入れてください。

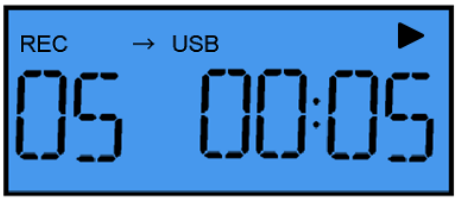
2、リモコンまたは本体の機能切換ボタンで「CD」に切り換えます。

2、CDの再生を開始します。（詳しくは22～23ページを参照してください。）

3、リモコンまたは本体の録音ボタンを押すと、ディスプレイに下記画面が表示されます。

表示が点滅します。
▶▶| ボタンを押すごとにALL→ONEに切り換えます。
ONE：1曲だけ録音します。
ALL：全てを録音します。

▶▶| ボタンを押すごとにALL→ONEに切り換わり、録音ボタンを再度押すと画面に「WAITING」と表示後、録音画面に切り換わり、録音が開始されます。
※再生中録音ボタンを押しても、曲の頭から録音します。



録音中画面

4、録音が完了すると、END　RECと表示後、CDのトラック数と収録時間が表示されます。
手動で録音を停止するには、本体またはリモコンの■ボタンを押します。

※音楽を曲ごとにファイルを作成したい場合は、1曲ごとに録音ボタンと■ボタンを押すと、曲ごとのファイルを作成することができます。
※録音された音楽は、記録したメディアの中の【RECORD】→【FCOPY】フォルダに保存されています。
※録音する際にSDカードとUSBが同時に接続されている場合、録音ボタンを押した時にどちらのメディアに録音するかを確認されます。 |◀◀ / ▶▶| ボタンで選択し、再度録音ボタンを押してください。

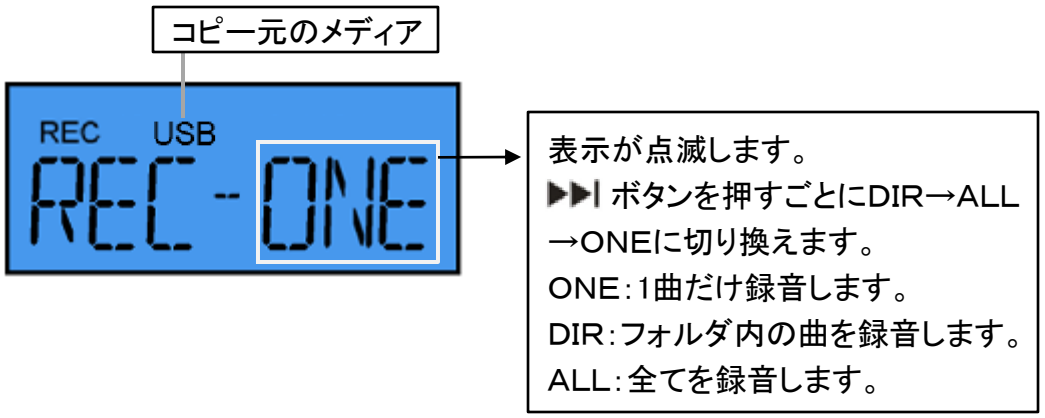
USB・SDカード間のファイルを録音（コピー）

本製品にはUSBに記録された音楽ファイルをSDカードへコピー、またはSDカードに記録された音楽ファイルをUSBメモリーへコピーすることができます。

1、USBとSDカードを両方を本体に挿入します。

2、機能切換ボタンでコピー元のメディアモードに切り換えます。
例：USB中のファイルをSDカードにコピーしたい場合はUSBモードに切り換えます。
（以下の全ての内容については、USBからSDカードへコピーする場合を例として記載していますが、SDカードからUSBへコピーの手順も同じ流れになります。）

3、「READING」と表示後、フォルダとファイル数を表示し再生が始まります。
▶▶| |◀◀ ボタンで録音したいファイルに移動します。同時に録音ボタンを押すと録音画面が表示されます。



4、再度録音ボタンを押すと画面に「WAITING」と表示後、曲の頭から録音/再生が開始されます。

5、録音が完了すると、END　RECと表示後、フォルダ数とファイル数が表示されます。
手動で録音を停止するには、本体またはリモコンの■ボタンを押します。

※音楽を曲ごとにファイルを作成したい場合は、1曲ごとに録音ボタンと■ボタンを押すと、曲ごとのファイルを作成することができます。
※録音された音楽は、記録したメディアの中の【RECORD】→【 FCOPY 】フォルダに保存されています。

USBまたはSDカード間のファイルを録音（コピー）

ご注意

・コピー可能なファイル形式はMP3・WMAのみとなります。著作件保護（DRM付き）された音楽ファイルのコピーはできません。

・コピーは音楽ファイルのみのコピーとなり、元のファイルのフォルダー階層やファイル名を維持したままファイルのコピーはできません。

・コピー先の記録メディアの容量により、全てのファイルをコピーすることできない場合があります。

・SDカード・USBメモリーの機種・メーカー・年式等によっては正しく動作しない場合がございます。

・SDカード・USBメモリーなど各記録媒体、およびその媒体に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねますので、予めご了承ください。大切なデータなどは、常にバックアップすることをお勧め致します。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思った時は、下記の項目をもう一度チェックしてください。
また、一度本体の電源スイッチをオフにしてから、再度起動してみてください。
それでも正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、
弊社サポートセンターにご連絡ください。
（各項目の詳細は、この説明書の対応する項目をお読みください）

症状	考えられる原因・確認事項
本体が作動しない	本体の電源ランプが点灯していますか。 点灯していない場合は本体背面の電源スイッチがONであること、電源が正しく接続されていることをご確認ください。
CDディスクを再生できない	ディスクに傷や汚れが無いことをご確認ください。
	ディスクを表裏逆にセットしていませんか。 印刷のある面が上になるようにディスクをセットしてください。
	本体を冷たい場所から急に暖かい、または湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。 電源を抜いて、本体の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	ディスク固有の問題の可能性があります。他のディスクが再生できるか試してみてください。
本機がリモコンの操作に反応しない	リモコンの電池が切れていませんか。 新しい電池に交換してみてください。
	リモコンの発信部と本体前面の受光部の間に、信号を遮る物が無いよう注意してください。
	本体前面の受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンがうまく動作しない場合があります。 光があたらないようにするか、リモコン・本体の角度を変えたり、受光部に近づいて操作してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因・確認事項
音声が出ない	再生モードが正しく設定されていますか。 本体の機能切換ボタンで切り換えてください。
	消音になっていないかご確認ください。 （消音ボタンを押してみてください。）
	本体の音量が最小音になっていないかご確認ください。
カセットを再生する時、時々音声が早送りのような状態で再生されてしまう。	主な原因は、テープの巻きだるみによるものです。 巻きだるみを解消してから、カセットテープを挿入するようにしてください。
FMラジオからSDカードやUSBへ録音できません。	本製品はラジオを録音する機能はありません。

製品仕様

商品名	マルチ レコード コンポ
品番	EB-XS100LP
電源	100V 50/60HZ
本体サイズ	約310(W)×150(H)×280(D)mm
スピーカーサイズ	約100(W)×163(H)×125(D)mm
製品重量	約4050g
推奨動作温度	約0～40度
対応フォーマット	CD、CD-R/RW、MP3、WMA
消費電力	10W
入力端子	3.5mm Aux-in ジャック
FM	76-108MHz
ターンテーブル 回転数	33/45/78rpm
電源コード長さ	約1.8m
インターフェース	USB2.0端子(USBメモリーのみ対応 最大16GBまで対応)
	SD、SDHC(最大16GBまで対応)
スピーカー出力	2.5W×2

※仕様は製品の改善・品質向上のため予告無く変更される場合があります。

ご注意

●USBメモリーの機種、メーカー、年式等によっては正しく動作しない場合がございます。
●レコード盤・カセットテープの破損・データの損失には責任を負いかねますので、ご了承ください。
●コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。
●ディスク・ファイルの品質・記録状態・録音環境により再生できない場合があります。
●カセットテープへの録音はできません。

保証条件の内容

保証期間は、お買い上げの日から1年間（本体）です。※付属品は除きます。

保証期間内でも以下の場合は有料修理となります。ご確認ください。

●下記の事項

1、誤った使用・不当な修理・改造・分解で生じた故障または損傷。

2、お買い上げ後の落下・故意による破損・輸送等で生じた故障または損傷。

3、火災・天災地変・塩害・異常電圧・指定外電圧使用等での生じた故障または損傷。

4、本書の提示がない場合。

5、本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合。

6、一般家庭用以外（業務用等）、または異常な連続使用による故障または損傷。

7、使用時に起きた傷・色あせ・汚れ・または保管の不備で起きた損傷。

8、付属品と消耗品の交換 。

●本書（保証書）は日本国内において有効です。

※保証期間中でも保証書のご提示が無い場合、有償修理となる場合があります。
※弊社出張修理サービス等は行っておりません。修理・点検ご希望の際はカスタマーサポートへご相談ください。